

12月定例市議会

たばたあずみ議員の一般質問

12月1日から行われたあきる野市定例市議会において、3人の日本共産党市議団が行った一般質問の報告です。今回はたばたあずみ議員が取り上げた質問の内容と、市側の回答の要点を報告します。



連絡先 550-6674

五日市中学校 特別支援学級の教室の改善を



教室の広さは通常の3分の2の五日市中特別支援学級。

五日市中学の特別支援学級では生徒が27人に増え、ホームルームとして使用している教室が狭くなりました。通常学級でも1クラスの上限は40人、27人はその3分の2にあたり、特別支援学級としてはあまりにも過密です。教室の3分の1を占めている職員のスペースを隣の部屋へ移動させ、教室を広くするよう改善をもとめました。

されている耐震化工事の際に、必要な工事を行いたいとの回答が得られました。

たばた議員は、すでに大規模改修を行った学校での、現場の希望を生かしたさまざまな工夫を紹介し、高く評価しました。しかし、一時的とはいえ五日市中の生徒が過密な状況におかれていることは問題であり、今後またこのような状況になる可能性もあるため、先生や保護者、子どもたちの声をよく聞き、できるだけ早く教室を改善するように求めました。



通常の広さの教室に15人が学ぶ、東中特別支援学級。

市は、現在の五日市中学の特別支援学級の状況を過密とは認めませんでした。西中学校にも特別支援学級ができたことや、来春の卒業で生徒数が減る予想であることなどを示し、今後は適切な生徒数になるだろうと答えました。また、五日市中学校の大規模改修の予定はありませんが、教室の使い方は現場の先生の創意工夫でやってもらいたいとし、23年度までに予定

3人乗り自転車普及に向けた貸し出し等とヘルメット購入費助成を

6月の道路交通法改定で自転車の3人乗りが原則禁止になりました。同時に3人乗りが可能な自転車の販売が始まりましたが、価格が高く普及は進んでいません。購入時助成や貸し出しを行う自治体が増えています。当市でも貸し出しや試乗会を兼ねた交通安全講習などを行い普及に務めるべきです。また、13歳未満のこどものヘルメット着用が努力義務になりましたが、定着していません。あきる野市の次世代育成支援行動計画の「子育て支援サービスを受ける主体は子

ども自身であるという視点に立って、子どもの幸せを第一に考え、子どもの利益を最大限に尊重します」という基本目標からも、こどもの安全を守るためヘルメット購入時助成に取り組むべきと提案しました。

市側は3人乗り自転車は一時期の利用に限らない、ヘルメットは安い、自分の身は自分で守るべきとして、どちらも個人で用意すべきとつめたい回答をしました。

たばた議員は、3人乗り自転車の特殊性を示し、公共の利用とした方が合理的であること、ヘルメットで防げるケガの割合は高いが、こどもは自分でヘルメットを買えないため、親に重要性を訴える必要があることなど訴えました。追求の中で、市は3人乗り自転車の利用対象者を保育園・幼稚園の通園20件程度と答え、子育ての実態がわかっていないことがはっきりしました。

試乗会を兼ねた交通安全講習については、協力してくれるメーカーがあるので開催は可能とのことでした。今後、実現するよう要請していきます。



3人乗り自転車の例。車体が丈夫で重心が低い。

日本共産党 jcp-akiruno.com/
あきる野市議団ニュース

154 2010.1.8 Tel・Fax 558-1134

日本共産党あきる野市議団は以上の見解を発表しました。
市民のみなさんの御意見をお聞かせください。

— 法律相談 —

1月28日(木)午後1時半～3時半
予約が必要です。市議団までご連絡ください。